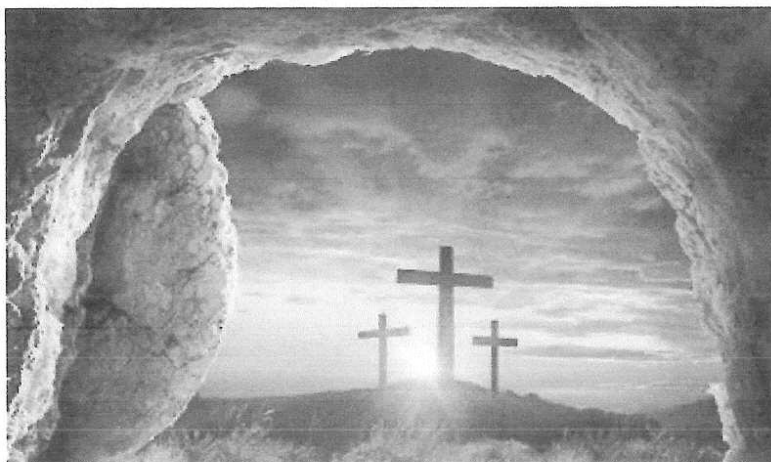


<朝ごとに新しい恵み>

哀歌3：22～24



エレファント(象)ジョーク

How do you eat an elephant?

One bite at a time. 大きな問題の解決も、一步一步。少しずつ。

私たちが滅びうせなかったのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ。
それは朝ごとに新しい。あなたの真実が力強い。

12弟子のシモン・ペテロも「主の恵み」を知った。

イエスを「知らない」と否定した自分を責めて泣いた。

しかし、このことで神のあわれみが亡くなったりはしなかった。

◆信仰の挫折を体験しても、神のあわれみが消えることは決してない。

赦しがある！ 尽きることはなく、それは朝ごとに新しい。

They are new every morning

哀歌を書いた預言者エレミヤ

大変苦しい状況に追い込まれていた。

私の悩みとさすらいの思い出は、苦よもぎと苦味だけ。私のたましいは、ただこれを思い出しては沈む。

【19、20節】

*にがよもぎ：苦く有毒なハーブ。蛇の毒。

激しい怒りのむちを受けて悩みに会った者。主は私を連れ去って、光のないやみを歩ませ、
御手をもって一日中、くり返して私を攻めた。主は私の肉と皮とをすり減らし、骨を砕き、
苦味と苦難で私を取り囲んだ。

【1～5節】

【背景】

バビロン帝国によって、王や、国の要人達は次々とバビロンへ捕囚された。都エルサレムも陥落。神殿も焼き払われ、無残な姿を遂げて廃墟となった。神に背を向ける民に、神のメッセージを伝えるが、墮落した者たちの耳には届かない。皆に憎まれ、牢に入れられて命を狙われるほどの孤独の戦いが続いた。

◆どんな状況も2つの視点から見る事が出来る。

神の視点 / 人の視点

エレミヤは完全に滅びてしまうような恐怖の中で、何かを思いかえた。

主のあわれみは尽きない！ それは朝ごとに新しい！

それは…

何度であっても、神の元に立ち返る者を神は赦して下さる。「恵み」

◆全てを失うほどの災いに遭っても、主との交わりさえ保たれているなら、恐れることは何もない。反対に、どれほどこの世の富を得ていても、主との交わりがなければ最終的にすべてを失う。

天から降った「マナ」の奇跡 (出エジプト記)

「マナ」が私たちに示していることは…？

【森永製菓の創業者、森永太一郎氏】